

2020/09/04

報道関係 各位

川崎医療福祉大学 オンライン公開講座 第2弾 「自閉症の特性－共生とバリアフリーを考えるために－」 動画配信中

川崎医療福祉大学では、さまざまなテーマで毎年4つの公開講座を開催しています。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ホームページで「オンライン公開講座」として動画を配信しており、現在、医療技術学部 健康体育学科の教職員と学生で制作した「かわさきエクササイズ」を第1弾として配信中です。

そしてこの度、第2弾として、元 医療福祉学部 医療福祉学科教授の佐々木正美先生による講義『TEACCH Autism Program「自閉症の特性－共生とバリアフリーを考えるために－」(2002年度本学自閉症特別講座第2回より)』の配信を開始しました。

佐々木正美先生は、自閉症の支援における世界的な潮流の一つである TEACCH(ティーチ)の、日本での草分け的存在です。本学は、2002年度に、社会連携活動の一環として、当時医療福祉学科の教授であった佐々木正美先生を中心に「自閉症特別講座」を開講。現在もその活動は続いています。今回は、2002年度自閉症特別講座の第2回の講義をオンライン公開講座として配信します。講義では、佐々木先生が出会ってこられた自閉症の人たち、家族の方々とのたくさんのエピソードで、一人ひとりの自閉症の人たちの「違い」を綴られています。佐々木先生は講義の中で、自閉症の人たちのもつ「違い」を大切にできる支援者になってほしい、と繰り返し述べられています。支援者が自閉症の人たちに分かりやすく関わることで、自閉症の人たち自身が自らを信じ、自分のイメージをもっとプラスに変えることができるようになる、と信じておられたからです。自閉症支援者のみならず、自閉症のことをこれから学ぶ人にもぜひご覧いただきたい内容となっています。

【川崎医療福祉大学 オンライン公開講座(第2弾)】

タイトル : TEACCH Autism Program

「自閉症の特性－共生とバリアフリーを考えるために－」

(2002年度本学自閉症特別講座第2回より)

講師 : 佐々木 正美

元 川崎医療福祉大学 医療福祉学科教授

〈在職期間 : 1997年4月1日～2014年3月31日〉

〈川崎医療福祉大学 オンライン公開講座ページ〉

URL: https://w.kawasaki-m.ac.jp/center/extension_course/



【佐々木正美先生の功績】

1982年にアメリカ、ノースカロライナ州で実践されているTEACCHプログラムに出会い、それ以来、日本への導入を精力的に進められ、従来の自閉症の治療や教育に手詰まりを感じていた多くの専門家、支援者、家族に新たな光をもたらしました。TEACCHの創始者である、エリック・ショプラー教授との交流は非常に有名で、川崎医療福祉大学とノースカロライナ大学 TEACCH 部(当時)との学術提携にも尽力されました。

2017年にご逝去された今も、多くの人から慕われています。



【動画一部抜粋】

<問合せ先>

川崎医療福祉大学

事務部(社会連携センター) 山本

Tel 086-462-1111(代)(内線 54216)